

事業名	デジタル技術を活用した農水産業教育充実事業	新規・改善・既定	課名	農業担い手 対策課 水産政策課
		国庫・県単		
<p>1 事業の目的・背景</p> <p>ウィズコロナの時代において、農業大学校の学生や高等水産研修所の研修生等の学習機会の確保・充実を図るため、農業大学校、高等水産研修所等にWi-Fi環境等を整備し、円滑なオンライン学習の実施と農場等でのICT教育の充実を図るとともに、多くの県民が利用する農業科学公園等の感染防止対策を強化する。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 45,478千円</p> <p>(2) 財源 国庫：45,478千円</p> <p>(3) 事業期間 令和3年度</p> <p>(4) 事業主体 県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① デジタル学習加速化事業 44,378千円 農業大学校、高等水産研修所等にWi-Fi環境及び学習用タブレット等を整備し、オンライン学習やICT学習を実施</p> <p>② 感染症対策強化事業 1,100千円 農業科学公園、農業総合研修センターに新型コロナウイルス感染予防のための備品を整備し、施設利用者の感染防止を強化</p> <p>3 事業効果</p> <p>(1) デジタル社会に対応した教育環境が整備されるとともに、対面授業とオンライン授業の組み合わせによる新しい教育体制の実現が図られる。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が図られる。</p>				

デジタル技術を活用した農水産業教育充実事業

現状と課題

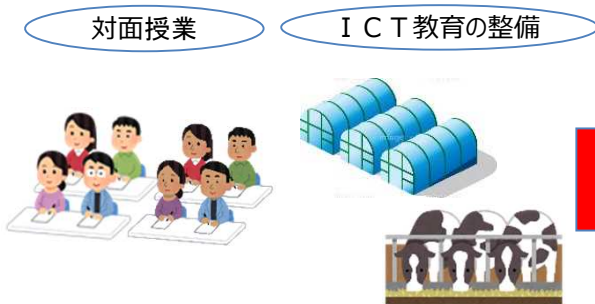
- 対面授業が中心。専門家（外部講師）を招いての授業を積極的に実施。
→ 変異ウイルスによる感染が拡大。学生同士、外部講師との接触機会を軽減できるオンライン授業（遠隔授業）を円滑に実施できる環境整備が必要。
- 教育実習施設にスマート機器（施設園芸ハウスの環境制御装置等）を導入。
→ ICT教育（スマート農業教育）を強化し、本県農水産業を担う人材の育成が必要。
- 農業科学公園及び農業総合研修センターは多くの県民が利用。
→ 感染防止対策の強化が必要。

対応

①デジタル学習加速化事業

- 農業大学校、高等水産研修所等にWi-Fi環境を整備。
- 農業大学校生及び高等水産研修所研修生の学習用タブレット等を整備。

現状（整備前）



整備後



②感染症対策強化事業

- 農業科学公園及び農業総合研修センターに自動検温器を整備。



農業科学公園



農業総合研修センター



効果

デジタル社会に対応した
教育環境の整備

対面授業とオンライン授業
を組み合わせた新しい教育
体制の実現

新型コロナウイルス
感染防止対策の徹底